

第2学年 学年だより

柱 ～ 猪 中 の 縁 の 下 の 力 持 ち に ～

No. 3

2024年(令和6年)

5月30日(木)



稲武野外学習「挑 楽 輝」～ 全ての挑戦を『楽しい』に ～

2年生の1年間の中で最大ともいえる行事、稲武野外学習。昨年度末、最初に行ったオリエンテーションでは「2年生最大の行事を、最高の思い出に」という話をしました。皆さんの帰ってきてからの姿や一人一人の作文を見ると、今回の稲武野外学習が皆さんにとって成功といえるような3日間だったのかなと思いました。

今回の活動を振り返ったときに、ただ楽しかったという気持ちだけでは成功とはいえないと思います。先生が成功だったと感じた大きな理由は、「挑楽輝」というスローガンが本当にぴったりな3日間だったなと思ったからです。実行委員の生徒たちがこの活動を最高の思い出にするという「目的」をもって、時間をかけて用意をして、当日楽しむ土台を作ってくれました。そしてその土台の上で、周りを巻き込んで全員で楽しむという「挑戦」をする皆さんの姿がありました。ただ楽しむのではなく、それぞれの活動に「目的」をもって挑戦し、周りの人を巻き込みながら楽しいものを作り上げていた皆さんの姿はとても輝いて見えました。

今回の稲武野外学習で見ることができた「求心力」は、この学年の強みだと思っています。これからの活動でも周りを巻き込み、猪子石中学校の柱となっていく姿を期待しています。

田川 晋平

稲武野外学習作文

最初稲武に行く前は正直楽しみよりも不安がとてもありました。初日は天気にも恵まれず、より不安が多かったです。だけど稲武についてからまずカレーを作るところから心配でした。上手に米が炊けるか、とか、野菜にちゃんと火が通るかなどです。だけど自分の班の人達は、いつもの学校生活では見たことのないような顔で一生懸命協力して作っていました。最初の班の人たちや稲武の職員さんたちのおかげで、大きな不安が消し飛びました。そして上手にカレーが作れました。そのあとの片付けもみんなで協力してきちんとできました。その夜のキャンプファイヤーの時には霧がすごくて、山の中の生活は天候や気温などがすごく大変であることが理解できました。そして稲武では夜にいろいろなことを学ぶことができました。朝や昼に気温が高くて晴れていても、夜になると急に気温が下がって体温調節が大変であることも稲武の生活を通して感じました。そしてとても過酷だったけれど、自然を味わえてとても楽しかったです。ハイキングでも身の回りの音や空気などを感じました。川の近くを歩くととても涼しく感じました。それからみんなで楽しくナイトレクをしました。3日目には自然のものを使って民芸教室を行いました。自分は竹とんぼを作りました。竹とんぼは上手に作るのが難しかったです。だけど最後にはみんな上手に作っていました。僕はこの3日間で「行事は自分たちで盛り上げて、みんなで楽しむものなのだ」と感じました。これからいろいろな行事もみんなで盛り上げて楽しんでいきたいです。





待ちに待った稲武の3日間が終わった。しかし私の心の中にはたくさんの思い出が残っている。1日目、前日からのワクワクを胸に出発した。しかしあいにくの雨。そのうちやむかなと思っていても全然やまないし、荷物もびちょびちょになって、ちょっと嫌だなと思っていた。けれどもセンターの人が「皆さんは雨の稲武も経験できて超ラッキーですね」と言ってい

ただいたことで、私の考えは変わった。そのあとは雨でも合羽を着ながら楽しんで飯ごう炊さんをするのができた。そしてお風呂に入り終わったところには雨もやみ、ものすごい霧に変わっていた。これも「超ラッキー」なのだと思う。霧の中で行ったキャンプファイヤーは時間を忘れるほど楽しい時間となった。トーチもちょっと失敗したところはあるが、よくできたと思う。劇・ダンス・ゲーム・トーチ・歌・火文字。すべてが最高の思い出となった。2日目はなんと快晴。朝から体操と散歩をして気持ちいい始まりとなった。そのあとは写生会をした。最初は「なんだかつまらなさそう」と思っていたが、美しくてきれいな川や木を見て描いていたらすごく楽しいひと時となった。そのあとはすぐにハイキングに出発。班の人たちとまとまって山を登った。途中にあるクイズポイントでは実行委員のおかげで楽しみながらハイキングをすることができた。そしてたくさん歩いて頂上に到着。写真を撮った後みんなでお弁当を食べた。頂上でのお弁当は最高に気持ちよかった。そのあとクラスごとに少し辺りを散策してから下山。頂上近くには風車があったり辺りを一望できるスポットがあったりで絶景を楽しめた。その数々の絶景をしっかりと目に焼き付けて下山した。下りは永遠に階段を下り続けていたので足がパンパンでちぎれそうだった。とてもクタクタになった。たくさんかいた汗をお風呂で流し、ご飯を食べたあとナイトレクをした。最初は自分たちの部屋で人狼ゲームをした。そのあとは多目的室で全体でレクをした。だるまさんの一日、陣取りゲーム、借り人競争。どれも白熱していて最高だった！その日は疲れていたのでも早く眠れた気がする。3日目、起きてから今日がもう3日目でもう帰らなければいけないことに気が付いた。なんだかちょっと寂しかった。まだいたいという気持ちが強くあった。その気持ちを胸に、民芸教室や大掃除には全力で取り組んだ。そして稲武野外学習はあっという間に終わってしまった。この3日間で私はたくさんの友達と仲良くなれて、より絆が深まったと思う。同じ部屋の子たちとはたくさんしゃべったり恋バナなんかもしたりした。呼び捨てで呼べるようになった友達もできた。あっという間のこの3日間の思い出は、これから先もずっと忘れないと思う。

私がこの稲武野外学習を終えて感じたことは、「みんなで協力することの大切さ」だ。1日目、あいにくの雨となってしまう、最初の整列点呼も遅れてしまって少し気分が上がらない中、レクの実行委員の子たちが頑張ってくれてクラスが盛り上がるのができたし、次の点呼の時にはみんなが時間を見て素早く整列できた。飯ごう炊さんでもしっかりとセンターの職員さんの話を聞いて自分の役割を責任をもって行ったり積極的に班の子を手伝ったりしてみんなで協力すると作業が早く進むことを実感した。そして待ちに待ったキャンプファイヤー。キャンプファイヤー実行委員もトーチ実行委員もこの時のために一生懸命準備してきたので、トーチ実行委員の私はとてもドキドキしていた。キャンプファイヤー実行委員の劇が始まって、みんなすごく盛り上がり、「みんなが作る稲武」という感じがした。キャンプファイヤーも終盤になりいよいよトーチの出番になった。緊張したけれど全力を出した。失敗してしまったところがあったのはすごく悔しかったけれど、次、何かに挑戦するときにはきっと生かせると思う。2日目、写生会で友達と楽しく話したり自然を感じながら絵を描いた後、ハイキングをした。長い時間をかけてクイズを解いたりしながら歩いたため、疲れた



けれども達成感があった。そのあとのナイトレクもみんなが楽しんでいてとてもいい雰囲気だった。3日目、民芸教室で蒔細工をした。めったにできない貴重な体験だったしとてもきれいな作品ができて嬉しかった。帰りにバスの中でもハイキング実行委員が準備してくれたビデオを見たり、レク実行委員が準備してくれた音楽を聴いたりして楽しんだ。この

3日間、たくさんのことがあってとても楽しめたので、改めて私たちが楽しめるように準備してくださったセンターの職員さん、先生方、そしてこの学年全員に感謝したい。長い時間をかけて準備してきたかいがあったと思ったし、自分たちで作上げた稲武になったかなとも思った。これはみんなで協力したからこそできたことだと思うので、全員が楽しかったと感じているといいなと思った。

僕はこの3日間の稲武野外学習を終えて、「普段の生活のありがたさ」と「友情の大切さ」を再認識することができました。稲武の生活は僕が想像していたものよりも3倍くらい過酷なものでした。特に大変だと思ったのは就寝時です。広くはない部屋にクラス全員で薄い敷布団と固い毛布で横になる。蛙が「のど自慢チャンピオン大会」をやっている中、少しでも声を出したり動いたりしないように気を配る。僕は普段安心して眠れているのは両親のおかげなんだと強く感じました。稲武での一番の楽しみは、実行委員が一生懸命考えてくれたレクリエーション、と3日前の僕は考えていました。しかし一番楽しかったのはクラスメイトと遊んだ人狼ゲームでした。僕はキャンプファイヤー実行委員としてみんなを楽しませるために何日も徹夜して劇の案を考えたり音源を作ったり、小道具を用意したりしました。「誰よりも頑張った」と言えるくらい全力を出しましたが、友達と遊んだ時間にはかないませんでした。それほど友情は強いものなんだと思うと同時に、次は全員に「一番面白かった！」と思わせるような企画を考えてやろうと決心しました。稲武で学んだ「家族と友達の大切さ」を心に刻み、感謝して生活しようと思います。

私は稲武野外学習を終えて、特に思い出になったことが2つあります。1つ目はキャンプファイヤーです。私はトーチトワリングの実行委員で、キャンプファイヤーの終わりにトーチを披露することになっていました。初めの練習では動きが雑になったり振り付けをよく間違えたりしていました。ゆっくり何度も練習しても、曲に合わせると慌てて振り付けが適当になってしまうことがありましたが、放課後に練習を繰り返していくうちに始めは嫌がりながら適当にやっていたトーチの振り付けも少しずつ覚えていき、だんだん自分の楽しみになっていきました。本番では緊張してしまい、少しまちがえてしまったところはありませんでしたが、それでも拍手をもらえたのでやってよかったなという気持ちになりました。2つ目はコミュニケーションです。もともとあまり人と話せなくて、よく一人でいることがありました。小学校の行事でも話しかけられずにずっと一人でいたので、今回勇気を出して近くにいたクラスメイトに声をかけてみました。すると優しく応じてくれて、思っていたよりも会話が弾みました。いつも話していなかった人ともレクを通して話すことができて、今まであった「人への恐怖心」が少しなくなった気がしたので良かったです。今後もこのような行事があったときには積極的に話をしてコミュニケーション力を上げていきたいです。今回の行事で私は仲間と協力すること、何事にも全力で取り組むことの大切さを改めて知りました。体育大会や校外学習でも今回のように様々なことを体験し、覚え、自分を成長させたいです。



僕はこの稲武野外学習を通して主に「あらゆる自然の美しさへの理解」と、「クラスメイトや友達との仲」をより一層深められたと感じています。ハイキングなどの行事で班の友達と会話をしていき、さらに相手のことをよく知って仲良く楽しく過ごせました。また、今までそこまで仲良くなかった人とも勝手ながら仲を深めることができたと思っています。

僕は個人的に稲武でメリハリをつけて行動・生活ができたと思っています。キャンプファイヤーや室内レクでは全力で楽しみつつ、次にすべき行動を常に友達に聞いたりしおりを見て確認したり。また先生や室長さんたちが指示を出しているときには集中して指示を聞くことができました。まさしく「挑楽輝」と「考動」ができたのではないかと思います。1年生のころから実行委員として準備してきたこともあって、キャンプファイヤーが終わったころには随分と達成感がありました。頑張ってきた準備してきたかがあったと思えました。他の実行委員もとても楽しいことを準備してくれて、今まで頑張ってきたんだなという努力が感じ取れました。この稲武野外学習は本当にみんなで築き上げてきたからこそ成功できたのだと思います。めちゃくちゃ楽しかった！！

◇◇ 保護者のみなさまへ ◇◇

6月の主な予定

① 学年会計集金のお知らせについて

6月5日(水)、本年度2回目の集金を行います。集金は登録していただいたゆうちょ銀行での引き落としです。今回の引き落とし金額は12,959円です。期日に間に合うようご準備ください。

② 補助教材費について

6月11日(火)、12日(水)に補助教材費の集金を行います。3,690円をご準備ください。学校にて現金集金です。

3日(月) 生徒集会 環境学校集会
4日(火) 体育大会係打ち合わせ 15:20~
5日(水) 午後 体育大会準備
6日(木) 体育大会(雨天木①~⑤)
10日(月) ~ 14(金) 教育相談
(月:14:00~、火からは⑥カット)
17日(月) 学校集会
18日(火) 生徒委員会
19日(水) 金①~⑤+水⑥
20日(木) 生徒議会



③ 体育大会について

6月6日(木)に本校運動場にて行います。参観エリアでご参観いただけます。詳しくは5月27日付でお子様にお渡ししたプリントをご覧ください。

④ 酷暑期の服装について

5月にも30度を超える気温の日があり、今年度も酷暑が予想されます。昨年度に行いました「酷暑期の服装について」の取り組みは、昨年度から若干の修正があります。お子様を通じて6月下旬にご連絡いたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【体育大会に向けて長縄練習頑張っています！】

